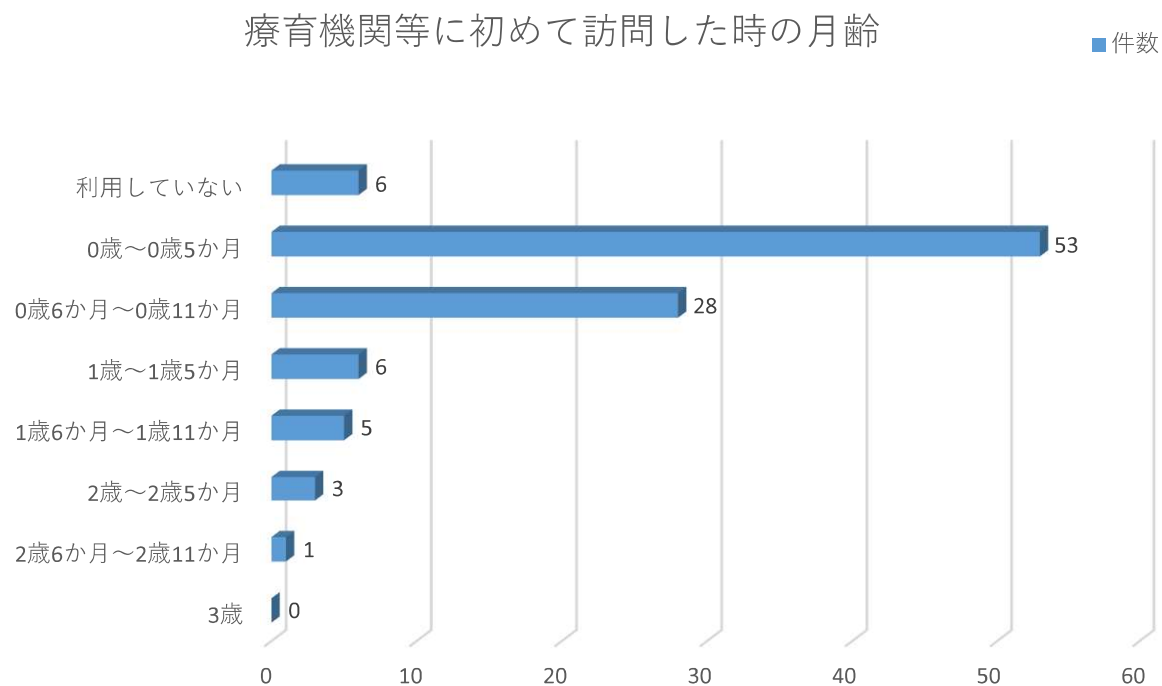


15 どのような経緯で難聴に気付かれたか教えてください。 ※新生児聴覚スクリーニング検査、精密検査未受診者のみ回答

- ・三歳児健診時に指摘された
- ・呼んでも振り向かない。【複数】
- ・大きなおもちゃの音に反応がなかった。
- ・NICUで一人の赤ちゃんが泣くと他の子たちも連鎖して泣き出すのに娘の場合はいつもスヤスヤ寝ていたり、日常生活でも大きな音（掃除機やドアの開閉音など）への反応が見られなかった為、聴覚検査を受けるために生後4ヶ月で初めて成育医療研究センターを受診した。
- ・1歳すぎても言葉が出なかった。音への反応も無く、人とのコミュニケーションも取りたがらなかった為、不審に思った。
- ・2歳くらいのときに呼んでも全く反応を示さなかったため、おかしいと思い病院に検査をしてもらったことで判明した。
- ・音に反応なかったから。

1 6 療育機関等に初めて訪問した時の月齢を教えてください。



回答者数 = 102

1 7 療育機関等は複数検討されましたか。

はい		いいえ	
54件	55.1%	44件	44.9%

18 療育機関等はどのように知りましたか。(複数回答可)

インターネットで検索して知った。		精密検査を実施した医療機関からの紹介		保健所からの紹介		区市町村の相談機関からの紹介		その他	
41件	42.7%	52件	54.2%	11件	11.5%	4件	4.2%	18件	18.8%

<その他>

- ・相談支援からの紹介
- ・デフサポ
- ・産婦人科からの紹介
- ・知り合い・友人からの紹介【複数】
- ・兄弟が通っていた
- ・他のろう児を持つ親からの情報【複数】

19 療育機関等はどのような理由で選びましたか。(複数回答可)

場所(自宅から通 やすいなど)	療育内容	その他
69件	60件	15件
71.9%	62.5%	15.6%

<その他>

- ・他に選択肢がなかった。(情報量が少ないため。田舎のため。)【複数】
- ・相談時の姿勢。
- ・産後はとにかく自宅から通いやすいところに決めたが、しばらくして難聴に対しての知識や、親としての考えが固まり2歳半以降はろう学校の他に手話メインの療育機関も並行して通った。
- ・補聴器の調整可否。

20 どのような療育内容が決め手になりましたか。

<その他>

- ・リハビリに沿った内容
- ・一つのコミュニケーション方法に絞るのではなく、手話と補聴器、手話と人工内耳、というように、複数の方法を併用しながら学べるというところ。
- ・ろう児に特化した療育
- ・親としてどう関わるかを教えてもらえる、他の難聴児や家庭と交流ができる。
- ・補聴器の調整ができること
- ・職員の方の温かい雰囲気。療育の回数や内容の濃さ。設備やスタッフの充実。残存聴力を乳幼児期に生かそうとする点。
- ・通常の聴者の保育園ではやらない、ろう者向けのカリキュラムや、教室への掲示物を見て、子供の成長には必要と判断した。

2 1 療育機関等を選ぶ際に必要な情報を得ることができましたか。

はい（自分で調べて得ることができた）	9件	9.5%
はい（相談先で十分な説明を受け、得ることができた）	25件	26.3%
はい（自分で調べたり、相談したり、苦労して得ることができた）	32件	33.7%
いいえ（自分で調べたが、十分とは言えない）	7件	7.4%
いいえ（相談先から説明を受けたが十分とは言えない）	6件	6.3%
いいえ（自分で調べたり、相談したり、苦労しても十分な情報を得られなかった）	6件	6.3%
どちらとも言えない	10件	10.5%

2 2 療育機関等を選ぶ際に有用な情報や、その情報を得る手段についてご意見があれば記載してください。

- ・産院にリファーマ時の紹介先を共有してほしい。【複数】
- ・療育機関や療育の内容の一覧表がほしい。【複数】
- ・いくつかリストになっていて、特徴などがあらかじめわかっているといい。（手話、人工内耳、特別な療養機関があるなど）
- ・活動内容、利用している保護者の感想があると想像しやすい。インターネットで情報を探せるかが確実でないので、精密検査を受けるまでの医療機関や保健所から情報提供をしてもらいたい。
- ・保健師さんにもっと情報を持ってほしい。
- ・地域の行政機関からも情報が得られるようにしてほしい。
- ・経験者の体験談や、基本的選択基準を明記した冊子が欲しかった

23 療育機関、医療機関、行政から受けた保護者支援について評価をください。

評価	(1) 聴覚障害について		(2) お子さんのきこえについての説明		(3) 補聴器についての説明		(4) 人工内耳についての説明	
	◎：とても役立った	36件	35.3%	39件	38.2%	32件	31.4%	36件
○：役立った	52件	51.0%	44件	43.1%	44件	43.1%	52件	51.0%
△：物足りなかった	10件	9.8%	15件	14.7%	16件	15.7%	10件	9.8%
×：役立たなかった	2件	2.0%	2件	2.0%	3件	2.9%	2件	2.0%
支援を受けていない	2件	2.0%	2件	2.0%	7件	6.9%	2件	2.0%

評価	(5) 聴覚活用について日常生活の中で具体的な方法と説明の支援		(6) 手話についての説明、実際の活用についての支援		(7) 具体的な育児、発達促進に関する説明や支援		(8) お子さんとのコミュニケーションの取り方の具体的な方法の説明や支援	
	◎：とても役立った	37件	36.3%	40件	39.2%	40件	39.2%	36件
○：役立った	40件	39.2%	22件	21.6%	45件	44.1%	52件	51.0%
△：物足りなかった	16件	15.7%	14件	13.7%	14件	13.7%	10件	9.8%
×：役立たなかった	2件	2.0%	4件	3.9%	1件	1.0%	2件	2.0%
支援を受けていない	7件	6.9%	22件	21.6%	2件	2.0%	2件	2.0%

評価	9) 言語（日本語）発達支援について具体的な方法の説明や支援		（10）おもちゃ、絵、絵本などいろいろな教材の扱い方についての説明や支援		（11）福祉制度、利用方法などについての情報の提供と説明		（12）お子さんのこと、家族のことなど個別の悩み、困り感の相談への対応	
	◎：とても役立った	35件	34.3%	38件	37.3%	15件	14.7%	36件
○：役立った	41件	40.2%	43件	42.2%	32件	31.4%	52件	51.0%
△：物足りなかった	19件	18.6%	16件	15.7%	33件	32.4%	10件	9.8%
×：役立たなかった	2件	2.0%	1件	1.0%	7件	6.9%	2件	2.0%
支援を受けていない	5件	4.9%	4件	3.9%	15件	14.7%	2件	2.0%

評価	（13）障害を受け止めることについての悩み、相談への助言や支援		（14）保護者同士の交流や話し合いの場の設定		（15）3歳児からの進路についての様々な情報の提供		（16）小学校以上の教育や将来についての情報の提供	
	◎：とても役立った	33件	32.4%	33件	32.4%	22件	21.6%	17件
○：役立った	28件	27.5%	39件	38.2%	33件	32.4%	31件	30.4%
△：物足りなかった	18件	17.6%	16件	15.7%	18件	17.6%	22件	21.6%
×：役立たなかった	6件	5.9%	4件	3.9%	9件	8.8%	5件	4.9%
支援を受けていない	17件	16.7%	10件	9.8%	20件	19.6%	27件	26.5%

評価	(17) 講演会や学習会の機会		(18) 並行して通う保育所、幼稚園に関する相談への対応		(19) 相談機関（窓口）についての情報の提供		(20) 療育機関等についての情報の提供	
	◎：とても役立った	37件	36.3%	20件	19.6%	5件	4.9%	13件
○：役立った	33件	32.4%	17件	16.7%	27件	26.5%	36件	35.3%
△：物足りなかった	16件	15.7%	19件	18.6%	26件	25.5%	24件	23.5%
×：役立たなかった	1件	1.0%	8件	7.8%	10件	9.8%	5件	4.9%
支援を受けていない	15件	14.7%	38件	37.3%	34件	33.3%	24件	23.5%

評価	(21) 医療機関についての情報の提供	
◎：とても役立った	14件	13.7%
○：役立った	27件	26.5%
△：物足りなかった	33件	32.4%
×：役立たなかった	5件	4.9%
支援を受けていない	23件	22.5%

2 難聴児に関する相談体制について

1 これまで難聴児に関する必要な相談はできていますか。

必要な相談ができています。		必要な相談ができていない。（相談機能の充実が必要）	
72件	70.6%	30件	29.4%

2 相談機能の充実が必要と考える場合、必要な順にお答えください。

	最も必要		2番目に必要		3番目に必要	
難聴に関して総合的に対応してくれる中核となる専門相談センターが必要	49件	55.7%	24件	30.4%	8件	11.0%
利用している療育機関等の相談対応の充実が必要	18件	20.5%	24件	30.4%	37件	50.7%
区市町村に身近な相談窓口が必要	21件	23.9%	31件	39.2%	28件	38.4%

5 相談体制に関し意見があれば御記入ください。

- ・ある程度の専門家が対応にあたってほしい。
- ・聴こえだけじゃなく難聴児の発達についてのサポート体制が欲しい
- ・手話も聴覚活用もどちらも中立な立場で意見をくれる人が相談にのってくれたらありがたい。
- ・相談しづらい、どこに相談すれば良いか分かりづらい
- ・療育、医療、行政の連携があればいいと思う。（毎回それぞれで、難聴についての説明が必要なので）
- ・子供の成長を一緒に見届けてくれるように、一本化してほしい。

6 どんな人が相談対応してくれると良いですか。

医師	看護師	言語聴覚士	保健師	手話のできる 福祉職	ろう学校の 元教員	その他
7件	2件	39件	9件	9件	30件	20件
6.9%	2.0%	38.2%	8.8%	8.8%	29.4%	19.6%

※その他

- ・ろう学校の教員
- ・当事者（ろう者）
- ・お子さんが聴覚障害の保護者
- ・ケアマネージャーのような方

3 療育・訓練体制について

1 これまで必要な療育・訓練は受けられていますか。

受けられている。		受けられていない。(療育・訓練機関の充実が必要)	
79件	84.0%	15件	16.0%

2 充実が必要と考えられる機関と具体的内容があれば記入して下さい。

- ・言語聴覚士の数が少ないと感じる。療育を受けるのに、3ヶ月に一度なので、切れ目のない教育を施せるようにしてほしい。
- ・独立して、子どもに必要な療育の進捗管理をフォローしてくれる機関。
- ・行政機関。精密検査の結果が出るまで、療育機関とつながるまでの支援をお願いしたい。
- ・療育、医療、行政の連携がもっと密になればいいと思う。